

2020年3月31日

名工建設株式会社で「ESG 経営支援私募債」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{みけ かねつぐ}三毛 兼承、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型社債商品である「ESG 経営支援私募債（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な確認を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の社債商品となります。

本日、名工建設株式会社（代表取締役社長 ^{わたなべ きよし}渡邊 清）は、本商品を発行いたしました。

また、MUFJ ESG 評価において、「特に進んでいる」との評価である A ランクを取得しました。

- ✓ 「名工建設 企業憲章」において、ESG すべての領域に関する名工建設グループの方向性を明示
- ✓ 環境（E）では、地球温暖化防止にむけて、GHG 排出源である建設現場における省エネ型機械の導入を積極的に進めているほか、建設現場におけるリユース・リデュース・リサイクル活動にも積極的に取組
- ✓ 社会（S）では、日本の大動脈である東海道新幹線、在来線などの「安全」「安定」輸送を確保することを使命として「鉄道安全方針」を策定し、軌道をメンテナンスする工事や新しい鉄道の建設を担っているほか、土木・建築・軌道の 3 部門による総合技術を得意とするゼネコンとして、豊かな社会の発展と災害対策に貢献
- ✓ ガバナンス（G）では、行動規範として、「安全第一」「コンプライアンス」「よりよい建設物の提供」「環境保全」「社会秩序の保持」「社会とのコミュニケーション」「ゆとりと豊かさを求めて」を掲げ、方針に沿った施策を推進

当行では、長期的な視点でお客さまや社会と末永い関係を築き、共に持続的な成長を実現するため、昨年 8 月にサステナブルビジネス室を設立しました。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、事業を通じた環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上